

b 2. 関東下の構成岩石モデルの構築

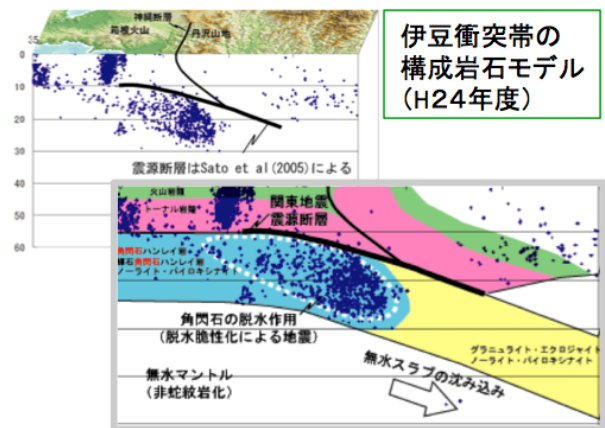
(1) 業務の内容

(a) 業務の目的

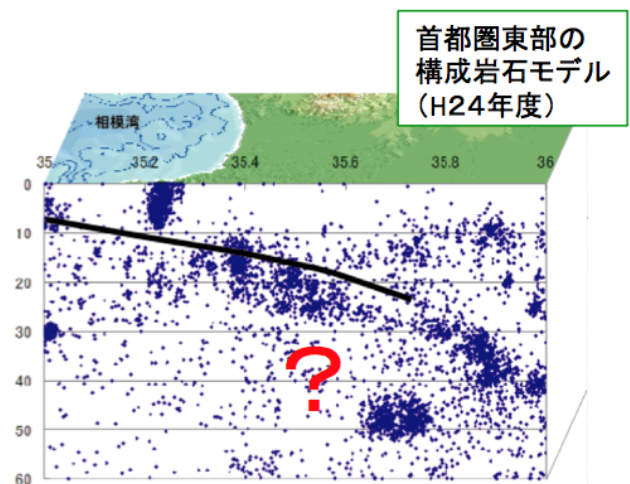
関東下で予想される岩石の高温・高圧下での弾性波速度を測定し、構成岩石モデルを構築する。

(b) 25年度の目的

平成24年度：海洋性島弧に由来する岩石を対象として弾性波速度測定実験を行い、海洋性島弧地殻深部に由来する岩石の弾性波速度データセットを得た。また、得られた弾性波速度に関する基礎データセットに基づき、首都圏西部に沈み込むフィリピン海スラブの地殻構成岩石に関する初期モデルを作成した。



平成25年度：海洋地殻に由来する岩石の弾性波速度測定実験を行なう。岩石の弾性波速度に関するデータを整理・収集するとともに既存の地震波トモグラフィーの結果に基づき、首都圏東部に沈み込むフィリピン海スラブの地殻構成岩石に関する初期モデルを作成する。



(c) 担当者

所属機関 横浜国立大学大学院環境情報研究院

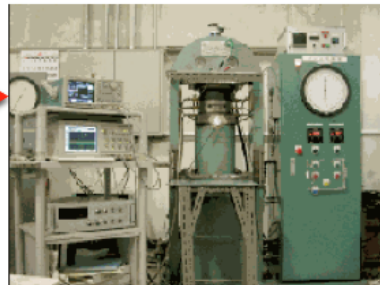
(2) 平成25年度の経過報告（9月末時点）

現時点では海洋地殻に由来する岩石の弾性波速度測定実験の準備段階であり、試料作成および実験装置の整備を行っている。岩石の弾性波速度に関するデータを整理・収集に取り組んでいる。本年度中に既存の地震波トモグラフィーの結果に基づき、首都圏東部に沈み込むフィリピン海スラブの地殻構成岩石に関する初期モデルを作成する。

海洋地殻に由来する岩石



弾性波速度測定実験



弾性波速度に関するデータを整理・収

